



江別市立豊幌小学校 学校だより

令和8年度 号外
全国学力・学習状況調査 結果
発行：令和8年10月13日
発行者：山本 武

江別市豊幌419番地
011-383-4440
豊幌小ホームページ→



令和8年4月23日(木)に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果と今後の取組をお知らせします。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の学習指導に役立てることを目的として行われています。本校においても、結果を分析し、課題等の解決に向け、授業改善や補足的な指導に取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査結果報告

1、国語

分類		区分	平均正答率(%)		
			本校	北海道(公立)	全国(公立)
全体			低い	60	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	やや低い	65.9	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	低い	51.0	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	同様	64.4	65.8
		B 書くこと	低い	43.2	45.7
		C 読むこと	やや高い	65.0	65.9
評価の観点		知識・技能	低い	60.9	62.0
		思考・判断・表現	やや低い	58.5	60.1
		主体的に学習に取り組む態度			
問題形式		選択式	低い	60.4	61.9
		短答式	ほぼ同様(上位)	62.3	62.6
		記述式	低い	53.4	54.9

《結果と課題》

- 全体の平均正答率が、全道・全国を下回りました。
- 観点別の正答率では、「思考・判断・表現」が全国をやや下回り、「知識・技能」では、全国を下回りました。
- ほとんどの設問で、無回答の児童はいませんでした。
- 「情報の取り扱いに関する事項」の情報や語句の関係性の理解に課題が見られました。
- 条件に合わせて「書くこと」に課題が見られました。

《改善に向けて》

- 正答率の低かった問題を、6年生全員で改めて解き直し、正しい解答を理解させます。
- 言葉のつながりを意識した日常指導を行い、接続詞や指示語などを意識した「読み」に取り組みます。
- 《語句の関係性》
- 『事実』、『意見』、『問題・原因』、『結果・答え』など文章の構成を意識した情報の整理を行います。
- 《情報の取り扱い》
- 条件や目的に応じた文章を、型やフォーマットを使い、短文から書く指導を行います。《書くこと》
- 全校で購入している漢字ドリルや、週末のAIドリルを使った配信の取組により、漢字の理解を深めさせます。

2、算数

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	北海道(公立)	全国(公立)
全体		低い	54	56.4
学習指導要領の内容	A 数と計算	低い	58.2	61.1
	B 図形	低い	51.8	55.3
	C 測定	低い	76.4	78.1
	C 変化と関係	低い	38.1	41.1
	D データの活用	低い	45.6	48.6
評価の観点	知識・技能	低い	57.4	60.1
	思考・判断・表現	低い	42.5	45.4
	主体的に学習に取り組む態度			
問題形式	選択式	やや低い	54.4	56.0
	短答式	低い	56.6	59.7
	記述式	低い	44.5	48.5

《結果と課題》

- 全体の平均正答率が、全道・全国を下回りました。
- 観点別の正答率では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」がともに全国を下回りました。
- 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることなど、数の仕組みについての正答率が100%でした。
- 計算の方法や、公式を理解している一方で、「意味理解や日常的な活用ができるか」を見る問題の正答率が低く、課題が見られました。
- 「目的に応じて、表やグラフを読み取り、見いだしたことを表現することができるか」を見る問題の正答率が低く、課題が見られました。

《改善に向けて》

- 正答率の低かった問題を、6年生全員で改めて解き直し、正しい解答を理解させます。
- 目的に応じて必要なデータを集めて分類整理し、表やグラフに表したり、読み取ったりする活動を日常的に取り組み、算数と関連して考える機会を持たせます。《データの活用》
- すでに学習した数の仕組みや計算方法、公式などを、日常の活用できる場面で取り組むことによって、既習の学びをより深めていきます。《知識・技能》
- 学習において、内容や学び方を選択する場を設け、自己調整をしながら学習に取り組む態度を育てます。《自己調整能力》
- 日常の宿題や家庭学習に加え、週末のAIドリルを使った配信の取組によって学習内容の定着を図ります。

3、児童質問調査紙

全国学力・学習状況調査では国語・算数のみならず、児童の学習意欲や学習時間、自尊意識や将来に関する意識など幅広く質問しています。

児童質問調査紙の多くの項目で、肯定的な回答が多く見られました。その中から、特に数値が高かった項目を紹介します。また、全国平均と比較し、今後改善が必要な項目については、改善策もお伝えします。

《肯定的な回答が多かった項目の中から（100％）》

- ・学校に行くのは楽しい
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできる。

児童、教師、地域のつながり、信頼関係が構築され、心理的安全性が保障された環境の下で、学校生活を送ることができていることがわかります。また、学習においても、協働的に学ぶことや ICT を活用した学習に取り組んでいることがわかります。

《肯定的な回答が全国平均を上回っていた項目》

- ・放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために地域の図書館（電子図書館を含む）を利用します。
- ・学校の授業時間以外に、普段から本を読んでいる。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- ・英語の勉強が得意、好きです。英語を使う職業につきたい。

放課後などの情報図書館の活用により、日常的に読書に取り組む児童が多いことがわかります。英語の授業では、アシスタントに入っている ALT の支援が行われている効果もあると考えられます。

《肯定的な回答が全国平均を下回っていた項目》

- ・学校の勉強以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日 2 時間以上勉強する。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に 1 日 2 時間以上勉強する。
- ・普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり携帯電話やスマートフォンで SNS や動画を 2 時間以上視聴している。
※2 時間以上使用している児童の割合が、本校は高いことを意味します。
- ・自分にはよいところがある。
- ・将来の夢や目標を持っている

《改善に向けて》

家庭学習習慣の数値把握と家庭連携

江陽中学校区で推進する家庭学習目標（学年×10 分＋10 分）に向け、全校児童を対象に再調査を実施して取組状況を数値で可視化します。その結果をもとに、ご家庭と協力しながら必要な支援を進めます。休日は AI ドリルの活用と、課題に合わせた問題に取り組むことで、取組状況の把握と、課題への対応を行いながら習慣化を図ります。

情報モラル教育の推進と生活習慣の改善

学習時間不足の一因となっているゲームや SNS 等の利用状況を踏まえ、情報モラル教育の充実を図るとともに、ご家庭と連携して適切な利用に向けた働きかけを行います。また、スマホなどの端末使用のルールを児童にも考えさせ自己調整する力も育成します。

肯定的評価と自己肯定感の育成

児童の自己肯定感を高めるため、全教職員が一人ひとりの長所や努力、活躍をしっかりと見取り、認める言葉かけを意識的に行ってまいります。

児童相互による価値付けと認め合いの活動

学校行事等を通して、児童同士がお互いのよさや頑張りを認め合い、伝え合う活動を計画・実施します（児童会書記局主導による取組）。

4、国語の問題から

《このような問題は全国より正答率が高めでした。》

小学校国語 大問2三イ

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

なぜ、長そでの服を着ているのか、イふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

正解 不思議

日常的に取り組んでいる漢字の学習の成果が出ています。全校的に漢字ドリルを購入し、練習を行っています。形を整え、丁寧に取り組むことで力が付きます。学年が上がると学習する漢字が増えますので習慣化できるよう取り組んでいきます。

《このような問題は全国より正答率が低めでした。》

小学校国語 大問2四

考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかを見る問題

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを「花山さんの文章の続き」に書いています。あなたが花山さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

書く条件

- ①【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ②ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎカッコ(「」)でくくすること。
- ③ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- ④百四十字以内にまとめて書くこと。

今回の回答では、①抜き出して、②「」でくくすることの条件に合わない解答が多く見られました。

改善の方策

- ・記述問題ではまず書くことを大切にして取り組みます。
- ・「抜き出す」「〇〇から選んで」「〇〇字以内」など、条件として大切なことを説明し、文型などを活用し書き方を指導します。
- ・各教科の中で「ふりかえり」のように日常的に書く活動を取り入れます。

【解答例】「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。えん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。(123字)

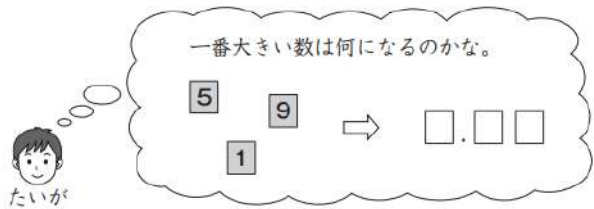
5、算数の問題から

《このような問題は全国より正答率が高めでした。》

小学校算数 3(1)

小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う 小数をつくることができるかどうかをみる問題

(1) たいがさんは、1 5 9 を引きました。



正解 9.51

小数は整数と同じ十進位取りの記数法の仕組みで表されます。そのことをしっかりと理解していることがわかります。

1、5、9を□に当てはめたときにつくることができる、一番大きい数を書きましょう。

《このような問題は全国より正答率が低めでした。》

小学校算数 4(3)

二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるとに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)				
		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ⑦ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ④ 人です。

上の⑦、④に入る数を、それぞれ書きましょう。

正解 ⑦13人 ④8人

表の読み取り

①前半あやとり	後半あやとり	4人
②前半あやとり	後半かるた	9人
③前半あやとり		13人
④前半かるた	後半あやとり	8人
⑤前半かるた	後半かるた	7人
⑥前半かるた		15人
⑦後半あやとり		12人
⑧後半かるた		16人
⑨遊びに参加した1年生		28人

表から読み取れることは以上になります。今回の回答では ⑦と④どちらかの正答は見られましたが、両方の正答は難しいという結果でした。

改善の方策

- ・今回の調査や2～5年生で実施しているNRTの検査からも、全校的にグラフ、表などに課題が見られます。
- ・各学年で学ぶ、表づくり、グラフづくり(棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ等)について、作成の仕方、特徴、何を表すのかなど丁寧に指導します。
- ・各教科での学習と関連付け、日常的にグラフや表を扱う機会を増やします。
- ・高学年では、関連性をもった複数の表やグラフを読み解く練習をするとともに、文章とも関連させる学習にも取り組みます。